

ガソリンスタンドの危険な忘れ物！ - 西日本防災システム

セルフ方式のガソリンスタンドの増加が、危険な忘れ物を増やしています。それは、車の給油口のキャップです。某所のスタンドでは2日に1個は置き忘れがあるとも言われるほど多いようです。ガソリンは揮発性が高く、過去にはキャップの閉め忘れが原因で爆発して男性ドライバーが重傷を負う事故も起きており、ガソリンスタンドや消防局は注意を呼びかけています。

某所のスタンドによりますと、深夜0時から早朝5時ごろまでに置き忘れが見つかる例が目立つそうです。後日取りに戻るドライバーもいますが、店には常時20個程度が残るそうです。「60個ほどたまった時もありました。給油後、キャップを閉める前に釣り銭を取りに行き、そのまま忘れてしまうケースが多いようです」とのコメントも。

ガソリンは揮発性が高く、その蒸気の比重は空気の3～4倍です。給油口から漏れたガソリン蒸気は地面をはうように広がり、離れた場所で引火する可能性もあります。密閉された車庫など蒸気が滞留したところに火を近づければかなりの危険性があります。

北海道根室市で1997年6月、男性が車のトランクを開けようとした際に爆発し、腰の骨を折るなどで約5カ月入院した事例があります。根室市消防本部の調査で、事故2日前に男性が給油した際、スタンド従業員がキャップを閉め忘れていたことが判明。男性は「車を停止させる度にガソリンのような臭いがし、燃料の減りが早かった」と語っていたそうです。怖いですね！

根室市消防本部は「給油口からガソリンが気化して車内の穴を通してトランク内に充満し、くわえたばこをしたままトランクを開けたために引火した」と推定する調査報告書をまとめました。

各自動車メーカーは置き忘れ防止の対策を進めており、最近の車種ではキャップと車体をワイヤでつなぐなどの工夫がされています。

セルフスタンドは年々増加傾向にあるようです。昨年9月末現在で全国8703カ所に上り、全スタンドの23%を占めています。

セルフ化率トップは香川県で16.7% 次いで神奈川15.4% 千葉13.7% 埼玉 13.5% となっています。

忘れないで 必ず締めてくださーい!!!



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

